

柏崎刈羽原発再稼働を許さないために！ 9・24なくそテ原発柏崎大集会に こぞってご参加を！

残暑お見舞い申し上げます

新潟は全国トップとなるほどの猛暑の連続。国連事務総長は「地球沸騰化」と警告。いまこそ地球環境を全力で守る時ではないでしょうか。岸田内閣はCo2削減の名のもとに原発推進政策を行おうとしています。原発から出る「核のゴミ」は地球環境破壊の最たるものです。「原発ゼロ、再生可能エネルギー社会」への転換を求めて、みんなで考え、声をあげていきましょう。

- ☆とき 9月24日(日)12:45～
- ☆ところ 柏崎市文化会館アルフォーレ
- ☆講演 小出裕章さん、報告…佐々木寛さん
- ☆バンド演奏、参加団体による報告、パレードなども

※参加申込みは9月20日(水)までに事務局まで。
(詳しくは同封の別紙案内チラシをご覧ください。)



原発再稼働のための設備改修費用を
消費者が負担させられるってホント?!

福島原発事故後この12年間で私たちは、国民一人当たり約27万円とも言われる原発にかかる費用を電気代として払ってきました。
更なる消費者負担を強いる制度の導入を経済産業省が検討していることが7月26日に明らかになりました。電力会社が既存原発の再稼働のために投じた巨額の安全対策費用を、電気料金を通じて消費者全体に負担させようとするものです。
再生可能エネルギーを選択した消費者も、原発をなくしたいと願う消費者も原発再稼働の費用を負担することになります。制度導入ストップ！ 再生可能エネルギーへの大転換を！

「アルプス処理水」(汚染水)の海洋放出は何が問題？

政府・東電はまず地元の漁業者らとの約束を守って！

- ◆復興庁のパンフには100倍に薄めれば水道水と同じレベルになるからとコップで飲む絵まであるから安心では？
- ◆生態系への影響は科学的に実証されていないし、30年間流し続ける量の多さ。更に新たに毎日増え続けている問題。
- ◆世界各国の原子力施設ではトリチウムが日常的に放出されているのでは？
- ◆事故炉内で核燃料に直接触れて生じた汚染水を処理した水を、意図的に海洋放出したことは世界のどこにもない。
- ◆IAEA(国際原子力機関)が包括報告書で「国際的な安全基準に合致する」としているので大丈夫なのでは？
- ◆IAEAは原子力利用を促進する機関で、中立的とはいえない。政府・東電の資料に基づいて追認している。
- ◆タンクが満杯なら仕方ないのでは？
- ◆「広域遮水壁」を建設し地下水の流入を防ぐ。タンク増設やモルタル固化を。

池内了さんとの対話集会迫る！ 8月27日(日)13:30～ ハイブ長岡へ！

9月の「再稼働NO! アオーレ前11日行動」は9月11日(月)16時～16時半です。ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第137号 2023年8月21日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707